

京都大学人文科学研究所共同研究

ブラフマニズムとヒンドゥイズム

南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性

第3回 シンポジウム

古代・中世インドの

[神話] [説話] [表象]

古代インドの捨て子伝説をめぐって 堂山 英次郎

ヴェーダ文献における河川について 山田 智輝

神話における頭部の切断と再生について 伊澤 敦子

パーリ聖典におけるブラフマー神の諸相 名和 隆乾

降魔成道と阿閼仏 佐藤 直実

説話世界の転輪聖王 — ブリハット・カター諸伝本の比較を通して 柴崎 麻穂

中世マハーラーシュートラのバクティ教団における出家者の実像 井田 克征



2017.10/7 (土) 京都大学人文科学研究所
本館4階 大会議室

古代・中世インドの [神話] [説話] [表象]

2017年10月7日(土)
京都大学人文科学研究所

本館4階 大会議室

タイムスケジュール:

10:00	開 会
10:10~	講 演
10:10-10:55	堂山 英次郎
10:55-11:40	山田 智輝
11:40-12:25	伊澤 敦子
12:25-13:30	昼休憩
13:30-14:15	名和 隆乾
14:15-15:00	佐藤 直実
15:00-15:45	柴崎 麻穂
15:45-16:30	井田 克征
16:30-16:40	小休憩
16:40-17:30	ディスカッション
17:30	閉 会

アクセス:

京都大学人文科学研究所
www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/access/access.htm



お問い合わせ:

電 話 藤井正人研究室

075-753-6949

メール fujii@zinbun.kyoto-u.ac.jp (藤井)

h-teshima@po.kbu.ac.jp (手嶋)

主 催:

京都大学人文科学研究所共同研究

ブラフマニズムとヒンドウイズム

南アジアの社会と宗教の連続性と非連続性

共 催:

科学研究費補助金基盤研究B (代表・梶原三恵子)

ヴェーダからポスト・ヴェーダの
宗教・文化の共通基盤と重層性の研究



古代インドの 捨て子伝説をめぐって

堂山 英次郎

インドの神話・物語に散見されるモチーフである捨て子について、ヴェーダからプラナーに至る資料の分類・系統化と、その社会背景、神話的象徴性、用語・語法等の分析を試みる。



ヴェーダ文献における 河川について

山田 智輝

本発表では、ヴェーダ文献中で河川がどのような存在として描かれるのかについて、「半遊牧移動生活から定住生活への移行」という文献成立上の歴史的背景に着目しつつ、検討する。



神話における頭部の 切断と再生について

伊澤 敦子

ヴェーダ文献には頭にまつわる神話が存在し、その中には後代の文献に伝承されているものもある。本発表では頭部に対する認識を探るべく、主なモチーフである頭部の切断・再生などを検討する。



パーリ聖典における ブラフマー神の諸相

名和 隆乾

初期仏典中、唯一フルセットで現存するパーリ聖典より、バラモンを中心に人々にとっての権威とされるブラフマー神の主要例を提示する。正統文化における本神格のイメージとの異同について議論したい。



降魔成道と阿闍仏

佐藤 直実

大乘仏教では阿弥陀仏や阿闍仏などの現在他方仏が新たに登場するが、その理由は明らかにされていない。本発表では、阿闍仏が釈尊の降魔を具象化したものである可能性を提示する。



説話世界の転輪聖王 ブリハット・カタール諸伝本の 比較を通して

柴崎 麻穂

古代説話『ブリハット・カタール』のカシミアル伝本には、転輪聖王が数多く登場する。諸エピソードの整理・諸伝本との比較を通じ、伝本ごとの理想の帝王の特徴・相違を分析、伝本成立の社会背景を探る。



中世マハーラーシュトラの バクティ教団における 出家者の実像

井田 克征

13世紀以降に展開したマハーヌバーク派の聖者伝を資料として、この派の教理書が説く厳格な出家制度が、僧院の発展とともに変容を遂げるにいたった経緯を明らかにする。